

放課後ルーム増設に関する緊急要望書

2015年5月11日

船橋市長 松戸徹 殿

船橋市学童保育連絡協議会
会長 伏谷智之
船橋市宮本 6-28-1

日頃より放課後ルーム事業の推進については、かねてより特段のご配慮いただき心より御礼申し上げます。

放課後ルームは、毎年増設されておりますが、そのスピードとニーズに大きな乖離が発生しております。

昨年度定員が増えた前原、西海神、船橋、市場、法典ですら、待機児が発生しています。特に法典は低学年でも入所できません。

市内全体では、低学年での待機児が16小学校198名となり、2004年以降で最悪の状態になっています。

この危機的な状況を、放課後ルームの担当部署だけでなく教育委員会、各学校長と情報共有し、抜本的な対策を講じることを要望いたします。

1. 増設計画を見直してください。

年に数施設の増設では、待機児の解消は不可能です。

国は2019年度までの5年間で、全国で約90万の定員を30万人増やす計画です。33%増です。これを船橋に当てはめるならば、約6000人になります。(現在の定員：4574)

2010年度策定の次世代育成支援行動計画「ふなばし・あいプラン(後期計画)」では、2014年度の定員の目標は5164でした。船橋市総合計画では、2015年度2施設、2016年度2施設の増設が目標となっています。目標以上増設を強く要望します。

2. 2015年度補正予算での増設を要望します。

今年度、3校での設計委託が予定されていますが、補正予算でも対応してください。

特に、宮本放課後ルームは、1年生58名、2年生32名、3年生6名の在籍です。更に、約20名が峰台放課後ルームに通所しています。このままでは、来年度低学年だけで70名以上の待機が予想されます。

宮本放課後ルームについては、早急に設計の見直しと、補正予算での建設を強く要望いたします。

3. 新設された放課後児童クラブ送迎支援事業を活用し、学区外の放課後ルームへの送迎事業を行ってください。

既に、保護者がファミリー・サポート・センターを利用して送迎を行っています。当面、ファミリー・サポート・センター利用に対する補助を検討してください。

4. 懇談のお願い

放課後ルームの増設にテーマを絞った、市長との懇談を要望いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、5月25日までに回答をお願いいたします。

以上